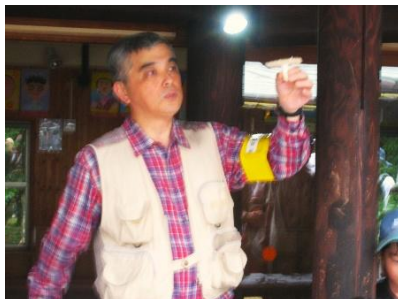


6月例会「梅雨・キノコのふしぎ探検」報告書

- と き 令和7年6月15日(日) 午前10時～正午
- ところ 立田山野外保育センター雑草の森(集合・解散)
- コース 雑草の森～夏の森～雑草の森
- 指導員 清田、長濱、益田、佐藤、藤井(景)、赤星、中園、倉光
- 講 師 熊本きのこ会会員 9名
- 参加者 24家族、60名
- 観察種 44種(熊本きのこ会に確認していただいた採集リストです)

アイカワタケ(ヒラフスベ)、アイタケ、アイバシロハツ、アラゲキクラゲ、イタチタケ、イロガワリキヒダタケ、ウズラタケ、ウチワタケ、ウラムサキ、オオツルタケ、オオミノコフキタケ、カラムササキハツ、カレバキツネタケ、カワウソタケ、カワリハツ、キアシグロタケ、キイロアセタケ、キクラゲ、キツネノハナガサ、クロアシボソノボリリュウタケ、クロコタマゴテングタケ、クロチチダマシ、ケショウハツ、コウジタケ、コテングタケモドキ、シロコナカブリ、チャウロコタケ、ツノマタタケ、ツルタケ、ドクベニタケ、ネンドタケ、ヒロロタケ、ヒダウロコタケ、ヒメコガネツルタケ、ビョウタケ、ベニヒダタケ、ヘビキノコモドキ、ホウライタケ属 sp.1、ボタンタケ、マンネンタケ、ミダレアミタケ、ミドリスギタケ、ムラサキカスリタケ、ムラサキフウセンタケ



梅雨入りとともに雨が降り続き「開催」が心配されましたが、当日の午前中だけ「曇り」というラッキーな月例会となりました。何よりも60名という参加者にビックリ。新しい入会もありました。

さあ出発です。森の中に入ると、前日までの雨が幸いして「顔」より大きなキノコがニョキニョキ。いろいろなキノコがたくさん採集できて子ども達は大喜びです。採集したキノコは、雑草の森に持ち帰り、きのこ会の会員の皆さんに名前を調べてもらってテーブルに並べます。大人も子どもも「自分で採集したキノコの名前が分かった」「立田山にはこんなに沢山の種類があるのか」と興味津々でした。

熊本きのこ会会員の皆さん、ありがとうございました。